

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆中小企業庁の「買ったたき」改善指導、最多106件 価格転嫁促す

・中小企業庁が2024年度に下請法が禁じる「買ったたき」にあたる行為106件に対し改善指導していたことがわかった。前年度に比べ30件増え、指導が100件を超えるのは統計の公表を始めた05年度以来初めて。原材料費や労務費が高騰する中、下請け企業の価格転嫁を妨げかねない取引に厳正な姿勢を示している。

◆自社株買い1～5月最高12兆円 資本効率の改善急ぐ、成長投資に課題も

・貿易摩擦により減益予想が多いなかでも上場企業の自社株買いが急増している。2025年1～5月は約12兆円と前年同期に比べ2割増え、同時期としては最高となった。企業は強まる市場の圧力に対応して資本効率の改善を急ぐ。中長期の企業価値向上には自社株買いだけでは持続性に欠け、成長投資への資金配分が課題になる。

◆推し活、物価高の影響「全くない」が過半 民間調査

・調査会社のインテージがまとめた好きなアイドルやキャラクターを応援する「推し活」に関する調査で、物価高や円安の影響を「全く受けない」とする回答が過半に達した。推し活をしている人の割合は全体の3割強。人生の楽しみや心の支えになっている存在にはお金を惜しまない消費者心理が明らかに。全国15～79歳の男女5000人を対象に調査。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆自治体の上下水道、国主導で広域統合加速を 国交省有識者会議

・国土交通省の有識者会議は自治体の上下水道事業の経営強化に向けたとりまとめ案を示した。広域の事業統合や経営の一体化を国主導で進めることなどを盛り込んだ。統合を後押しするインセンティブ措置の検討も求めた。上下水道は老朽化が進み、設備の維持管理・更新が課題に。単独で事業を続けるのが難しくなっている。

◆ノーリツ、廃給湯器の資源循環モデルを推進し地域共生へも貢献

・湯まわり設備メーカーの株式会社ノーリツは、給湯器リサイクル事業の強化に向けて、使用済み給湯器を回収・再資源化し、新たな給湯器の材料に使用する「クローズドリサイクル」のスキーム構築に着手。地域完結型の回収・分解体制を整備し、分解作業は地域の福祉施設に委託、障がい者の就労機会を創出、地域共生社会実現にも貢献。

◆南海トラフ死者数8割減目標 今後10年、政府7月にも計画改定

・政府は南海トラフ巨大地震の「防災対策推進基本計画」の改定案を自民党部会に示し、了承を得た。3月に公表した被害想定で最大29万8千人とした死者数を「10年間でおおむね8割減らす」との目標を設定。全壊焼失建物数は最大235万棟から半減を目指す。高い目標を掲げて減災につなげる狙いがある。

《 注目商品 》

■リンナイ、軒下設置用のガス衣類乾燥機

・ベランダ設置などに対応する軒下設置モデルが登場。既存モデルの機能やデザインはそのままに、防水性に配慮した設計で、雨や水が直接かからない屋外の軒下設置が可能。戸建てや集合住宅の軒下を活用、排湿管の穴あけ工事が難しい場合でも導入可。



■透明・不透明が切り替わる調光合わせガラス、浴室にも対応

・山上はスイッチひとつで透明と不透明を瞬時に切り替える調光フィルムとガラスを組み合わせた一体型モデル「FLクリスタルブラインド Duo〜デュオ〜」を発売。浴室やスパなど、従来の調光フィルムでは対応が難しかった高温多湿な環境にも導入できるように。



■ミラタップ EV充電器・ケーブルをすっきりしまう専用キャビネット

・EV充電器本体や充電ケーブルを収納できるミニマルデザインのEV充電器用キャビネット「カブレノ」を発売。庫内のホルダーやフックを使うことで、充電器本体とケーブルをすっきりと収納。コンセント型からウォール型まで主要メーカーのEV充電器に対応。

